

これは一般社団法人日本乳腺甲状腺超音波医学会（JABTS）の機関誌の投稿規定である。

【投稿論文】

乳腺甲状腺超音波医学に関する基礎的・臨床的研究で、会員に益すると認められるもの。論文は、本学会ホームページと機関誌とに掲載される。

【誓約書】

論文投稿時には著作権譲渡、及び二重投稿でないことを確認するため、誓約書に著者・共著者全員の承諾・署名・利益相反の有無についての自己申告が必要である。誓約書は、本会ホームページ（<http://www.jabts.or.jp>）からダウンロードして使用し、論文投稿時に編集委員会宛て郵送する。

【倫理規定】

臨床例（もしくは臨床材料）または動物を対象とした実験的研究においては、各施設の倫理委員会または動物実験に関する委員会に承認されていること、および臨床研究においては、必要に応じて被験者からinformed consentを得ている旨を原稿内に記載すること。また、個人情報保護のため、論文内に個人を特定できる記載がないこと。筆頭著者は本会会員に限る。

【利益相反】

論文投稿時に、誓約書にて利益相反の有無を申告すること。利益相反状態がある場合は、専用の申告用紙（投稿論文用）に必要事項を記載し、提出すること。

【投稿原稿】

投稿は、本文、文献、図表の説明を併せて、「原著」、「症例報告」は6000字程度以内、「技術報告」、「短報」は4000字程度以内にまとめること。図表1点は、400字換算とする。

【原稿の書き方】

- 用紙は、A4版とし、1ページの行数（40行）、1行の文字数（40字）とする。
- 文章は「である」調とし、平易な表現とする。
句読点としては、ピリオド（.）とカンマ（,）を使用する。
- 語句は英語で表現する方が通例である場合以外は、出来るだけ日本語を用い、やむえない場合はカタカナ書きを用いる。
- 必ずページ数を記載すること。

1 ページ目の記載事項

論文の種類、タイトル、著者名、所属、住所、電話番号、FAX番号、e-mail addressを記載すること。タイトル、著者名、所属、住所は、和文・英文の両方を記載する。

2 ページ目以降

抄録、Keyword、本文、文献、図（写真）およびその説明、表およびその説明、の順番で原稿を構成すること。

【抄録】

- ・抄録は、目的、対象と方法、結果と考察、結論の順に記載。
- ・和文抄録（600字以内）及び英文抄録（300words以内）を記載。

【Key Words】

- ・英語5個以内（固有名詞以外は小文字のみ）で記載。

【本文】

- ・原著論文の場合は、「はじめに」、「対象と方法」、「結果」、「考察」、「結語」の順に記載すること。
- ・症例報告の場合は、「はじめに」、「症例報告」、「考察」の順に記載すること。

【文献】

- ・本文中の引用箇所の右肩に上付きで引用順に番号を振って記載すること。
- ・書式は下記のように、著者名を3人までとし、それ以上は和文では「ほか」、英文では「et al」とする。

- ・雑誌名については、和文雑誌は公式の略称、欧文雑誌は Index Medicus にしたがって略したものを記載する。

① 雑誌からの引用例

<和文誌>

古川政樹¹，古川まどか．頭頸部の超音波診断．超音波医学 2006;33 (3) :315-22.

<英文誌>

Takei J, Tsunoda-Shimizu H, Kikuchi M, et al. Clinical implications of architectural distortion visualized by breast ultrasonography. Breast Cancer 2009;16 (2) :132-135.

<抄録号>

梅本剛，佐藤香奈，大川浩一，ほか．超音波所見からみた組織弾性一境界部高エコー像 (halo) の硬さ一．第27回日本乳腺甲状腺超音波診断会議抄録集 2011 ; 27 : 75.

② 単行本からの引用例

日本乳腺甲状腺診断会議編．乳房超音波診断ガイドライン (第3版)．東京，南江堂，2014; p. 1-8.

③ ウェブサイトからの引用例 (著作権者名 : URL, アクセス日時)

日本乳癌検診学会 : <http://www.jabcs.jp/pages/top.html>, 2019/3/31 13:00.

[図]

- ・図は、矢印を用いるなどしてわかりやすくすること。
- ・図の説明文は、本文最終ページに「図の説明ページ」を設け、記載すること。原則として、細胞・組織等の写真を除き、モノクロとする。

[表]

- ・表中 (Table) の言語は、日本語を用いること。
- ・単位は全て英語を用いること。

【略語について】

略語の使用は一般的なものに限り、かつ最小限度にとどめること。

【原稿の内容】

投稿原稿は全て複数の査読者が評価を行い、編集委員会が採否を決定する。投稿規定に準拠しない原稿は査読を受けることなく投稿者に返却されることがある。

【掲載料】

投稿料、掲載料、及び編集委員会が必要と認めた図のカラー印刷は無料とする。別刷が必要な場合は、実費負担とする。

【原稿のデータ提出】

以下の3項目をデジタルデータとし、メールに添付して下記のアドレスに提出すること。大容量となり送付できない場合は、記録したメディアを下記まで郵送すること。

1) 誓約書

スキャンしPDFファイルにした形式での提出を推奨する。それ以外であればFaxにて提出する。

2) 原稿

原稿はMS-Word ファイルで作成し、1 ファイルにまとめて提出する。

3) 図・表

各々1 ファイルにまとめて提出する (Fig 一式, Table 一式) 。

提出・問合せ先

日本乳腺甲状腺超音波医学会 編集委員会

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-1 自治医科大学臨床検査医学

TEL : 0285-58-7385 / FAX : 0285-44-9947

e-mail : jabts-office@jichi.ac.jp

誓約書

論文名： _____

筆頭著者名： _____ 所属： _____

筆頭者および共著者全員は、上記論文の投稿に当たり、以下のことを誓約する。

1. この論文は、「乳腺甲状腺超音波医学」投稿規定に沿って作成されたものである。
2. 翻訳権を含めた著作権を一般社団法人日本乳腺甲状腺超音波医学会へ譲渡する。
3. 二重投稿の違反が認められた場合は、編集委員会の指示にしたがう。

楷書又は印刷で氏名を記入	署名	利益相反状態	会員番号 (会員は記入)	日付
1	:	: 有・無	:	:
2	:	: 有・無	:	:
3	:	: 有・無	:	:
4	:	: 有・無	:	:
5	:	: 有・無	:	:
6	:	: 有・無	:	:
7	:	: 有・無	:	:
8	:	: 有・無	:	:
9	:	: 有・無	:	:
10	:	: 有・無	:	:

利益相反の申告：(筆頭者・共著者、全員が対象となります。)

※「利益相反状態に有る」を選択された方は、別の[利益相反状態自己申告用紙(投稿論文用)]に必要事項を記入の上、本誓約書と併せてご提出下さい。

利益相反状態自己申告用紙(投稿論文用)

日本乳腺甲状腺超音波医学会編集委員会委員長 殿

本投稿論文は、企業あるいは営利団体がかわるものであるため、日本乳腺甲状腺超音波医学会の利益相反に関する指針に基づきここに申告します。

著者名： _____

論文名： _____

利益相反状態にある著者全員について、投稿時点の前の年から過去3年間および出版受理時点までの期間を対象に、発表内容に関する企業・組織または団体とのCOI状態を著者ごとに自己申告

項目	該当の状況	有の場合、企業名などの記載
①企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職などの報酬（1つの企業・団体から年間100万円以上のものを記載）	(本人) 有・無	
	(親族) 有・無	
②株式から得られる利益（1つの企業の1年間の利益が100万円以上、あるいは当該株式の5%以上保有のものを記載）	(本人) 有・無	
	(親族) 有・無	
③特許使用料として支払われた報酬（1つの特許使用料が年間100万円以上のものを記載）	(本人) 有・無	
	(親族) 有・無	
④会議の出席（発表、助言など）に対し支払われた日当、講演料など（1つの企業・団体からの年間合計50万円以上のものを記載）	(本人) 有・無	
⑤パンフレットなどの執筆に対して支払われた原稿料（1つの企業・団体から年間合計50万円以上のものを記載）	(本人) 有・無	
⑥研究費（治験、共同研究、受託研究）、助成金など（1つの臨床研究（治験、共同研究、受託研究など）に対して、申告者が実質的に用途を決定し得る研究契約金の総額が年間100万円以上のものを記載）	(本人) 有・無	
⑦奨学（奨励）寄付金（1つの企業・団体から、申告者個人または申告者が所属する講座・分野または研究室に対して、申告者が実質的に用途を決定し得る寄付金の総額が年間100万円以上のものを記載）	(本人) 有・無	
⑧寄付講座（企業などからの寄付講座に所属している場合、寄付金の総額が年間100万円以上のものを記載）	(本人) 有・無	
⑨研究とは無関係な旅行、贈答品など（1つの企業・団体から年間5万円以上のものを記載）	(本人) 有・無	

①～③の親族とは、申告者の配偶者、一親等の親族、生計を共にする者をいう。⑥～⑨の金額は、開示すべきCOI関係にある企業や団体などからの研究費、助成金、寄付金などに対して、申告者が実質的に用途を決定し得る総額を示している。

(本COI申告書は発表後2年間保管されます)

申告日 _____ 年 月 日

申告者所属 _____

申告者名(署名, タイプは不可) _____